



### 周術期口腔機能管理とは

全身麻酔での手術や、がん治療の化学療法・放射線療法を受けられる患者さんの口の中を清潔に保つ、ぐらぐらしている歯を固定または抜歯する、むし歯や歯周病を治療する、入れ歯の状態をチェックするなどを歯科医師や歯科衛生士が専門的ケアを行うことにより、誤嚥性肺炎などの術後合併症の発生を抑制し、口内炎や歯性感染症の発症を予防でき、さらには入院期間の短縮を図れることが最近明らかになってきました。三田市歯科医師会では、医科と歯科が連携し、このような患者さんへの医科での治療前・治療中・治療後に行う「周術期口腔機能管理」を推進しています。

### 安全な手術を受けるために

がんなどの手術前後、歯科医師・歯科衛生士により、口の中を清潔に保つことが、誤嚥(ゴエン…食物や飲み物が肺の方に誤って流れ込み呼吸困難や肺炎などの原因となること)や、人工呼吸器を付けた後の合併症の予防・抑制をする役目を果たすことがわかりました。しかし、手術を行う病院に歯科を併設している病院が少なく、これから大学病院などと地域の歯科医との連携が望まれています。これが周術期口腔機能管理です。

#### 周術期口腔 機能管理 のメリット

肺炎をはじめとした  
術後合併症の  
発症頻度の減少

放射線治療や  
化学療法時の  
有害事象を減少させ、  
治療の完遂率を上げる

## INFORMATION

### 周術期口腔機能管理 のご案内

#### 三田市歯科医師会では

三田市内で開業している歯科医院の会員組織で、会員は「かかりつけ歯科医」として地域に密着した歯科医療の推進、保健所・社会福祉協議会・学校・事業所などでの地域保健活動を通じて社会的な使命を果たしています。

※市内すべての歯科医院が入会しているわけではありません。

診療のお問い合わせは本パンフレット内の  
対応医院一覧よりお問い合わせください。

<http://sanda-dental-association.org/>



三田市歯科医師会

